

♣♣♣♣♣♣♣♣2013 年度 東海大学 解答 ♣♣♣♣♣♣♣♣

1

(1) 絶対値をはずすと、

$$-2 < 3x^2 - 4 < 2$$

$$\Leftrightarrow \frac{2}{3} < x^2 < 2$$

$$\Rightarrow -\sqrt{2} < x < -\frac{\sqrt{6}}{3}, \frac{\sqrt{6}}{3} < x < \sqrt{2} \dots\dots \boxed{\text{ア}}, \boxed{\text{イ}}, \boxed{\text{ウ}}, \boxed{\text{エ}}$$

となる。

(2) 等比数列は一般に、

$$a_n = a_1 \times r^{n-1}$$

とかけるので、 $a_1 = 2$ 、 $a_1 + a_2 = a_1 + a_1 r = 8$ なので、

$$a_1 = 2$$

$$r = 3 \dots\dots \boxed{\text{オ}}$$

を得る。よって、 $a_n = 2 \times 3^{n-1} > 5000 \Rightarrow 3^{n-1} > 2500$ となる最小の n は

$$\begin{cases} 3^7 = 2187 \\ 3^8 = 6561 \end{cases}$$

であることを考慮すると、

$$n = 9 \dots\dots \boxed{\text{カ}}$$

を得る。

(3) 恒等式に対し、 $x = 0, 1, 3$ を代入することにより、

$$\begin{cases} a = \frac{23}{2} \\ b = -10 \\ c = \frac{3}{2} \end{cases}$$

となる。

(4) 与えられた式に対し微分計算をそれぞれ実行すると、

$$\begin{cases} y = e^{2x} \sin x \\ y' = e^{2x} (2 \sin x + \cos x) \\ y'' = e^{2x} (4 \sin x + 2 \cos x + 2 \cos x - \sin x) = e^{2x} (3 \sin x + 4 \cos x) \end{cases}$$

よって、

$$y'' + Ay' + y = e^{2x} ((A + 4) \cos x + (2A + B + 3) \sin x) = 0$$

$$\Rightarrow A = -4, B = 5 \dots\dots \boxed{\text{キ}}, \boxed{\text{ク}}$$

(5) 余弦定理より、

$$\sqrt{3}^2 = \sqrt{7}^2 + 1^2 - 2\vec{OA} \cdot \vec{OB}$$

$$\Rightarrow \vec{OA} \cdot \vec{OB} = \frac{5}{2} \dots\dots \boxed{\text{ケ}}$$



各生徒様お一人お一人に適した東海大学の予想問題を作成します

お問い合わせはこちら

受験数学研究所

<http://isugaku.jp/>

最短、最速で合格に導きます



2

(1) 底面を OAB とし、 V を計算すると、

$$V = \frac{1}{3} \cdot \frac{1}{2} \cdot 1 = \frac{1}{6} \dots\dots \boxed{\text{ア}}$$

となる。また、三角形 ABC の面積は

$$\frac{1}{2} \cdot \sqrt{2} \cdot \sqrt{2} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

となるので、 h を用いて V を荒らすと、

$$V = \frac{1}{3} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} = \frac{\sqrt{3}}{6} h \dots\dots \boxed{\text{イ}}$$

となる。よって

$$h = \frac{1}{\sqrt{3}} \dots\dots \boxed{\text{ウ}}$$

を得る。

(2) $\triangle ABC$ の中心を G と置くと、(1) における垂線の足は G にあたる。また、正四面体の 4 番目の頂点 D は OG の延長線上にあるので、その座標は一つの変数 t を用いて $D(t, t, t)$ とおける。よって、 DA の長さは $\sqrt{2}$ なので、

$$(s-1)^2 + s^2 + s^2 = 2 \Rightarrow s = 1$$

よって D の座標は

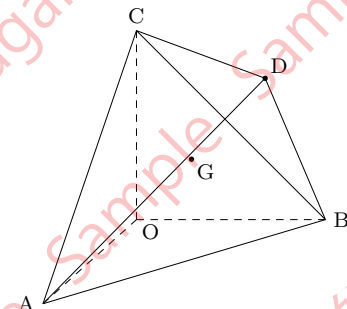
$$(1, 1, 1) \dots\dots \boxed{\text{エ}}$$

となる。(1) から $OG = \frac{\sqrt{3}}{3}$ であり、 $DG = \frac{2\sqrt{3}}{3}$ となる。よって、 V_1 と V_2 の体積比は、点 D を原点とする新たな xyz 空間を考え、半径 $\sqrt{2}$ の球を $x = \frac{2\sqrt{3}}{3}$ の平面で分割される体積比と等しい。よって、

$$V_1 = \int_{\frac{2\sqrt{3}}{3}}^{\sqrt{2}} \pi (2-x^2) dx = \left[\pi \left(2x - \frac{x^3}{3} \right) \right]_{\frac{2\sqrt{3}}{3}}^{\sqrt{2}} = \frac{36\sqrt{2} - 28\sqrt{3}}{27} \pi \dots\dots \boxed{\text{オ}}$$

$$V_2 = \frac{4}{3} \pi (\sqrt{2})^3 - \frac{36\sqrt{2} - 28\sqrt{3}}{27} \pi = \frac{36\sqrt{2} + 28\sqrt{3}}{27} \pi \dots\dots \boxed{\text{カ}}$$

となる。



3

(1) $-1 < a < 1$ なので、 $y = 1 - x^2$ を微分し、接線の方程式を求めると、

$$y = -2ax + 1 + a^2 \dots\dots \text{ア}$$

となる。

(2) (1) で求めた式と、 $y = x^2 - 1$ を連立して方程式を解くと、

$$x = -a \pm \sqrt{2a^2 + 2}$$

となる。よって、

$$2a^2 + 2 \dots\dots \text{イ}$$

となる。また、求める面積は右上図のような範囲であり、 $x = -1$ から $x = 1$ の範囲を引くことにより、

$$\begin{aligned} T(a) &= \frac{\{-a + \sqrt{2a^2 + 2} - (-a - \sqrt{2a^2 + 2})\}^3}{6} - 2 \times \frac{(1 - (-1))^3}{6} \\ &= \frac{4}{3} (2a^2 + 2)^{\frac{3}{2}} - \frac{8}{3} \dots\dots \text{ウ} \end{aligned}$$

となる。 $T(a)$ を微分すると、

$$T'(a) = 8a(2a^2 + 2)$$

となり、 $a = \pm \frac{1}{2}$ で最大値をとる。よって、

$$T\left(\pm \frac{1}{2}\right) = \frac{5\sqrt{10} - 8}{3} \dots\dots \text{エ}$$

を得る。

(3) 直線 AP の方程式を求めると、

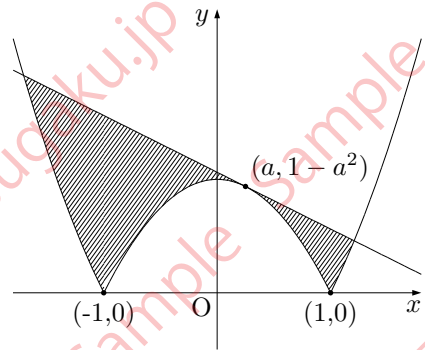
$$y = -(a + 1)x + a + 1$$

となるので、 $y = x^2 - 1$ と $x < -1$ の範囲で交点を求めると、

$$\begin{aligned} x^2 - 1 &= -(a + 1)x + a + 1 \\ \Rightarrow (x - 1)(x + a + 2) &= 0 \end{aligned}$$

よって、B の x 座標は $x = -a - 2$ であり、求める面積は

$$\frac{1}{6} (1 + a + 2)^3 = \frac{(a + 3)^3}{6} \dots\dots \text{オ}$$



となる。よって $S(a)$ は

$$S(a) = \frac{1}{6} (-a^3 + 15a^2 + 21a + 13) \dots\dots \boxed{\text{カ}}$$

を得る。

(4) この最大値は (3) による $S(a)$ の最大値を求めばよく、

$$\text{Max}(S(a)) = S\left(\frac{1}{2}\right) = \frac{217}{48} \dots\dots \boxed{\text{キ}}$$

となる。



各生徒様お一人お一人に適した東海大学の予想問題を作成します

お問い合わせはこちら

受験数学研究所

<http://isugaku.jp/>

最短、最速で合格に導きます

